

## 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

### ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人 東京二期会
公演団体名	公益財団法人 東京二期会

内容
各回 60 名までを対象に 1 日 3 回までで実施可能です。主指導者 1 名と補助者 2 名(歌手、ピアニスト)で指導いたします。はじめに、オペラアリアまたは二重唱 1 曲を指導者が披露し、その後、事前に提示した課題曲と一緒に取り組みます。主指導者が司会も務め、合唱の楽しみや曲の解説、発声の仕方などをアドバイスします。ここで取り組んだ合唱曲は本公演時に二期会合唱団と共に歌うことで、成果発表の機会ともなります。課題曲は、「パプリカ」「希望の歌」いずれか選択していただくことが可能ですが、前者は手拍子足拍子などもあり、主に低学年に適していると考えます。後者はベートーヴェンの「第九」によるもので、曲の習熟度によっては、シラーの詩の部分を実語(ドイツ語)で歌えるよう指導もいたしますので、音楽の世界を広げてもらうことができます。ワークショップ各回の内容は基本的に同じですが、学年や習熟度に応じて回を分けていただくことも可能です。はじめに指導者の演奏を聴いていただきますが、その際にも司会が聴く姿勢や聴きどころを解説しますので、鑑賞指導の側面でも効果をあげることができます。その後の課題曲歌唱では、指導者からの具体的なアドバイスを含む実技指導となります。ここで歌の知識、技術が向上することで、音楽への更なる興味喚起が可能となると考えております。コロナ禍においては、児童生徒さんの歌唱が難しい状況であれば、指導者、及び補助者での歌唱のみ行うなど、状況に応じて対応させていただきます。

タイムスケジュール(標準)
小学校、中学校、ともに通常授業の 1 時限(45 分または 50 分)を使います。上述の通り、はじめに指導者による演奏、その後課題曲指導となります。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
3 名 内訳：主指導者 1 名と補助者 2 名(歌手、ピアニスト)

学校における事前指導
課題曲について、いずれを選択した場合でも事前に楽譜データをお送りします。「パプリカ」の場合、その楽譜を印刷の上、配布しておいて下さい。「希望の歌」の場合、楽譜配付に加えて、ドイツ語の読みの指導していただければスムーズです。(4 声部のパート分けは、各学校で実施有無を判断いただければ幸いです。)

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益財団法人 東京二期会
公演団体名	公益財団法人 東京二期会

演目

第1部 「花は咲く」「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」「フレンチ・カンカン」「パプリカ」「希望の歌」

※曲は一部変更になる可能性があります。

第2部 モーツァルト作曲 オペラ『魔笛』ハイライト

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

出演者 29 名、スタッフ 5 名、計 34 名

タイムスケジュール（標準）

前日仕込み（無） 会場設営の所要時間（3 時間程度）

到着	仕込み/リハーサル	本公演	休憩	撤去	退出
8:00	8:00-11:00/11:00-12:30	13:30-15:10	15分	15:30-16:45	17:00

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。

※初回公演地では、前日仕込みとして、3時間の確保を希望いたします。

実施校への協力依頼人員

体育館の床面にピアノを設置して下さい（地元主催者及び開催校にて設営して頂きますようご協力をお願い致します。難しい場合は早めにお知らせ頂けますようお願いいたします（ホールの場合は舞台上でけっこうです）。また、本公演前日までにピアノ調律（442Hz）を完了させて下さい。公演時の開会及び閉会の司会進行は、開催校のご都合に合わせてお願い致します。搬入・搬出の際、お手伝いの人員をご手配下さい。

## 演目解説

第1部ではオペラ合唱の名曲、皆さんが知っている曲を二期会合唱団が披露します。オペラはアリアや重唱だけでなく、合唱も重要な役割を担っていて、聴きどころ満載です。

「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って」はイタリアオペラの傑作『ナブッコ』からの1曲ですが、単独で取り上げられることも多く、合唱曲の金字塔でもあります。イタリア語で披露しますので、オペラの雰囲気をもっと味わっていただけます。「フレンチ・カンカン」は皆さんに「運動会の曲」としておなじみですが、実は『天国と地獄』というオペレッタの1曲です。二期会合唱団による振り付きの歌唱で、曲本来のおもしろさを実感してもらえます。「パプリカ」「希望の歌」は皆さんも加わっていただき、全体で大合唱をいたしましょう。

第2部では世界で最も上演されているオペラのひとつ、モーツァルトの『魔笛』をハイライトでお送りします。長年この事業で披露してきた演目ですが、この度アップデートを加え、アリア、重唱そして合唱でバランスよく構成いたします。弊財団主催オペラ公演で活躍するソリストを起用、合唱団含め出演者全員が衣裳を着用し、質の高いオペラ鑑賞機会としていただけます。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップで指導者を務めるのは、これまでも様々な学年を対象に、数多くの指導を行ってきた歌手となります。各学校での音楽の授業内容や進捗、先生からのご要望等にお応えした形で実施することができますので、ご相談いただければと思います。

本公演で上演するオペラ『魔笛』は学校教材として取り上げられることもあり、登場人物の関連図やあらすじ、見どころ、聴きどころを、例えば事前学習等される場合には、資料をご提供可能です。

ワークショップ、本公演いずれに関しても、できる限り実施校に対応し、積極的な事業を目指しております。

## 児童生徒とのふれあい

ワークショップ時の振付や合唱でふれあいながらの指導や公演などが想定しておりましたが、コロナ禍においてそれが厳しい状況にあるため、十分なソーシャルディスタンスを確保し、マスクを着用した上で、一緒に歌唱が出来ないかなどを検討していきたいと思っております。